

世界文化遺産 「平泉」に至る ゆかりの地「えさし」 平安浪漫薫る

壮大な歴史公園



12世紀のほぼ100年間。戦火の絶えること
のなかった平安時代の「陸奥（みちのく）」にお
いて、一貫した平和思想を掲げ平泉文化を築き
上げた奥州藤原氏。この奥州藤原氏が貫いた浄
土思想が、2011年6月、ユネスコの世界文
化遺産登録につながりました。

「奥州市江刺」は初代清衡公の生誕の地であ
り、前九年・後三年の合戦を経て、平泉へ移る
まで過ごした土地です。その江刺に、奥州藤原
氏の偉業を顕彰するため「歴史公園えさし藤原
の郷」が平成5年にオープンしました。約20ヘ
クタールの広さに、厳密な時代考証に基づいた
120棟余りの歴史的建造物を再現。茅葺屋根
の武家住宅から始まり、平安貴族の住まい「寝
殿造」を再現し、園内を一周すると建物の様式
で時代の移り変わりがわかるようになっていま
す。その他、政治を司る「政庁」、東北特有の「城
柵」などがあり、古代から中世にかけての文化
を体感できる歴史テーマパークです。

本格的な建築物は大河ドラマをはじめ映画や
テレビ番組のロケ地としても活用されており、
タイミングが良ければ実際のロケに出会うこと
も。

園内では、郷土芸能「江刺鹿踊」の定期公演
や、平泉前史をわかりやすくお話しする「えさ
しの語りべ」清衡公の行った写経事業に学び「紺
紙金銀字写経体験」など、様々な催しが行われ
ています。また、隣接する「えさし郷土文化館」
と併せて見学することで世界文化遺産「平泉」

の歴史的価値をさらに深めることができます。

四季折々には、桜やサツキ、中尊寺ハス、紫
陽花、睡蓮、萩、紅葉などの花々も彩りを添え
ています。

園内を出ますと、郷土色豊かな味わいが楽し
めるレストランと若手県内の多彩なお土産品な
どが充実した売店もご紹介します。

平安時代の歴史テーマパークをどうぞごゆっ
くりお楽しみください。

歴史文化を訪ねて

江刺、そして平泉へ。

平和を願う故郷江刺から平泉へ
浄土思想を基調にした仏国土の実現

安倍氏、清原氏の絶大な権力を継承した清衡は、江刺豊田館を10年ほど
拠点とした後、本拠地を平泉へと移す。名も実父の姓である藤原に改め、こ
こに奥州藤原氏初代清衡が誕生したのである。

仏教でこの地を浄化したいと願った清衡は、長治2年（1105）、中尊寺
一山の造営に着手し、数多くの堂塔や仏像も造っていく。永久5年（1117）
からは、江刺の益澤院において、8年がかりで5300余巻に及ぶ紺紙金銀
字交書（一切経）国宝を完成させる。清衡はこの大事業に尽力した中尊寺の僧・
自在房蓮光の労をねぎらい、骨寺村を与えたという。

一切経も完成し、中尊寺内の大伽藍落慶法要を行った大治元年（1126）、

「中尊寺建立供養願文」の中で、清衡は「敵味方の区別なく命ある全てのもの
が極楽往生できるように」という願いをしたためた。前九年合戦で実父を、
後三年合戦で妻子をなくし、自らも激しい戦いの中で多くの敵方を倒してき
た彼が願うのは、争いのない平和な国づくりなのであった。

100年にわたる藤原氏の思いは
時を超え世界平和へとつながっていく

争いのない仏国土への思いは次の世代へと受け継がれ、二代基衡は浄土庭
園を配した毛越寺を造営。莫大な財力を背景に平泉を華麗な仏教都市へと導
いた。三代基衡は宇治の平等院を模し、それより大規模な無量光院を建立した。
その権力は祖父、父を凌ぎ、鎮守府將軍と現地人として初めて陸奥守にも任
じられた。また、源義経を庇護する懐の深さもあつた。その志は四代基衡へと
託されたが、源頼朝の軍勢に攻められ、ついに文治5年（1189）、100
年に及ぶ平泉の歴史は幕を下ろす。

それから800年余。清衡が思い描いた浄土思想に基づき園づくりの夢は、
はるかなる時を超え、今も平泉に、脈々と息づいている。

